

## 北海道大学病院

研修医 高畑 明日香 2017年4月

本年度より北海道大学病院、鹿児島大学病院それぞれの目玉である地域医療研修の交換派遣制度が始まり、第1号として出水に参りました。鹿児島県に来るのも初めて、北海道外で生活したのも初めてでしたが、指導医の先生、スタッフの皆様、そして出水の地域の方々のおかげでとても充実した1ヶ月を過ごすことができました。

現行の医師臨床研修制度では全医師に2年間の初期臨床研修が義務付けられており、その中で2年目の1~3ヶ月間、地域医療の研修が必修となっています。通常では北海道大学病院の地域医療研修では道内の診療所で1ヶ月程度勤務することになっております。この度、北海道大学病院と鹿児島大学病院が提携して一部の研修医を交換して派遣する制度が始まり、今年度は北海道大学より3名が鹿児島本土で1ヶ月、離島で1ヶ月の研修を行う予定です。

全く土地勘のない鹿児島での研修ということで、研修先の選択には迷いましたが、研修医の声などを読ませていただき、出水を選ばせていただきました。

出水での研修に際して2つの目標を建てました。ひとつはかかりつけ医としての診療所の機能を学ぶこと、もうひとつはコメディカルと呼ばれる医師以外の医療職について研修し、求められる医師像を学ぶことです。

診療所の外来では医師1人で何人もの患者さんを診療しており、1人の患者さんにかかる時間は限られております。全ての方に均等に時間をかけることはできず、リスクの大きさを考え時間配分をする必要があることに気づきました。野田診療所、高尾野診療所では一般的な検査はほとんど行うことができ、ありがたかったです。一方往診では、簡単には来院できない状態の患者さんの診察が中心であり、できる検査は限られており、より丁寧な診察を要する反面、たくさんの患者さんを診察しないと採算が合わず効率が求められることが分かりました。

出水総合医療センターでは消化器内科での研修を行う傍ら、様々な医療職とのマンツーマンの研修が行われており、保健センターでの研修も行われております。彼らに1年めで持った様々な疑問や、実際の症例で自分の判断についてどう思うか直接聞くことができ、より良い診療を行うためのヒントをたくさんいただきました。診察の質や患者さんの満足度の向上のため、より効果的に多職種と連携していきたいと思えます。

最後になりましたが、出水や近郊にはたくさんの見どころがありました。特に武家屋敷のような歴史的な街並みは北海道では見ることはできません。すっかり気に入って、2回も訪問してしまいました。東光山、特攻碑公園、ツル、長島花フェスタ、曾木の滝、AZあくねなどの出水や出水近郊の名所、熊本の水俣病資料館、球泉洞や阿蘇山などにも足を伸ばすことができ大変楽しい研修でした。このような機会を作ってください、関係各位には心から感謝しております。ありがとうございました。